

小学校算数科の授業における主体的に学びに取り組む児童の育成

—児童同士で協働する「学び合いタイム」と学びを自己選択する「のびのびタイム」を生かした自己調整学習を通して—

特別研修員 算数 熊王 崇祐(小学校教諭)

児童の実態

難しい問題になると、解決への見通しがもてなかったり、一人で解決することに固執したりして、問題の解決を諦める児童が見られる。

国・県の方針

教師が「～させる」授業から、児童が「～する」授業を実現する。
また、授業では自己決定、対話・交流、試行錯誤の場面を取り入れる。

手立て① 単元計画の工夫 「学び合いタイム」と「のびのびタイム」



話し合いを通じて本時のねらいに迫る授業「学び合いタイム」と自己課題の追究を通じて本時のねらいに迫る「のびのびタイム」で計画をする。

第4時で、複合図形の体積の求め方を考えるときに
話し合いを通じて本時のねらいに迫りたい…



学び合いタイム

第6時で、単元全体の学習内容を確認するときに
自己課題の追究を通じて本時のねらいに迫りたい…



のびのびタイム

学び合いタイム	のびのびタイム	学び合いタイム	学び合いタイム	のびのびタイム	のびのびタイム
四角柱や三角柱の体積の求め方を話し合う	自己課題を追究する	円柱の体積の求め方を話し合う	複合図形の体積の求め方を話し合う	自己課題を追究する	自己課題を追究する

実践例 6年 立体の体積 計6時間



学び合いタイム

実践例 「立体の体積」第4時
複合図形を「底面積×高さ」で求めることができる

- ◆問題提示・めあての設定(5分)
- ◆見通し・問題を考える視点の共有(5分)

【問題を考える視点】
底面積×高さで
求められるのかな?

<問題>
右の角柱の体積は
いくつかな。
10cm 9cm
13cm 5cm

- ◆協働的な問題解決・学び合い(25分)

- ◆全体共有(5分)



こっちの方が
簡単に解けるよ!
ここを…



この部分を底面積として
考えました。なぜかと言うと…

- ◆振り返り(5分)



角柱を倒すことで、底面が捉えられました。底面積×高さで求めると便利だな
と思いました。のびのびタイムでもう一度確認したいです。

学び合いタイムで
得た自身の課題で
のびのびタイムで
解決したい!

相互に
効果的に
作用!

生
学
か
し
た
い!
の
び
の
び
タ
イ
ム
で
身
に
付
け
た
自
信
を

のびのびタイム

実践例 「立体の体積」第6時
いろいろな柱体の体積を求められるようになる

- ◆本時のめあての共有(5分)

めあて
角柱や円柱、複雑な立体の体積を求められるようになろう

- ◆My課題の設定(5分)

※「My課題」は、単位時間に行う、児童の選択した学習課題です。

My課題

- (例) 角柱の問題を解けるようにする。
- (例) 友達とホワイトボードで問題を出し合う。



- ◆My課題の解決に向けた試行錯誤(30分)

ここを
底面とみれば…



- ◆振り返り(5分) 問題をみんなで出し合おう!

みんなで問題を出し合ったことで、いろいろな角柱の体積を正確に求められるようになりました。算数への自信がつきました。

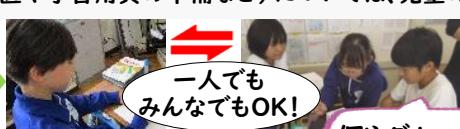


手立て② 学習形態や学習環境の工夫

児童が教室内を自由に移動し、自らの希望に沿って個やペア、集団など学習形態を選択できるようにする。

また、学習環境(机の配置や学習用具の準備など)については、児童の要望を反映する。

クラス全員が
学びやすい環境を
みんなで
作っていこう!



みんなで
話し合って決めた…



個やグループでの自由な
学習方法の選択

私たちの
学習の場!

学習環境の
工夫

児童の希望を反映した
机や学習用具の配置

成果

○児童アンケートから、100%の児童が「学び合いタイムとのびのびタイムで、主体的に学びに取り組むことができている」と回答しており、児童自身が主体的に学ぶことができる手立てだと実感している。また、児童が教室内を自由に移動し、自らの希望に沿って学び方に変えられるようにしたことで、友達と協力して考える姿が多く見られた。

課題

●「のびのびタイム」の学習課題の設定を児童に委ねた結果、一部の児童がねらいを達成できなかった。また、学び合いの場面では、特定の児童のみが交流しクラス全体での問題解決が滞る場面があった。児童一人一人をよく見取り、個別の支援や対話を促進する手立てを用意する必要性を感じた。